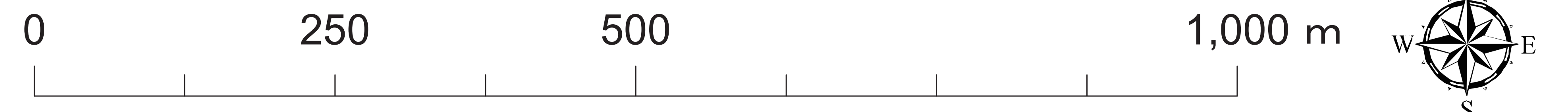
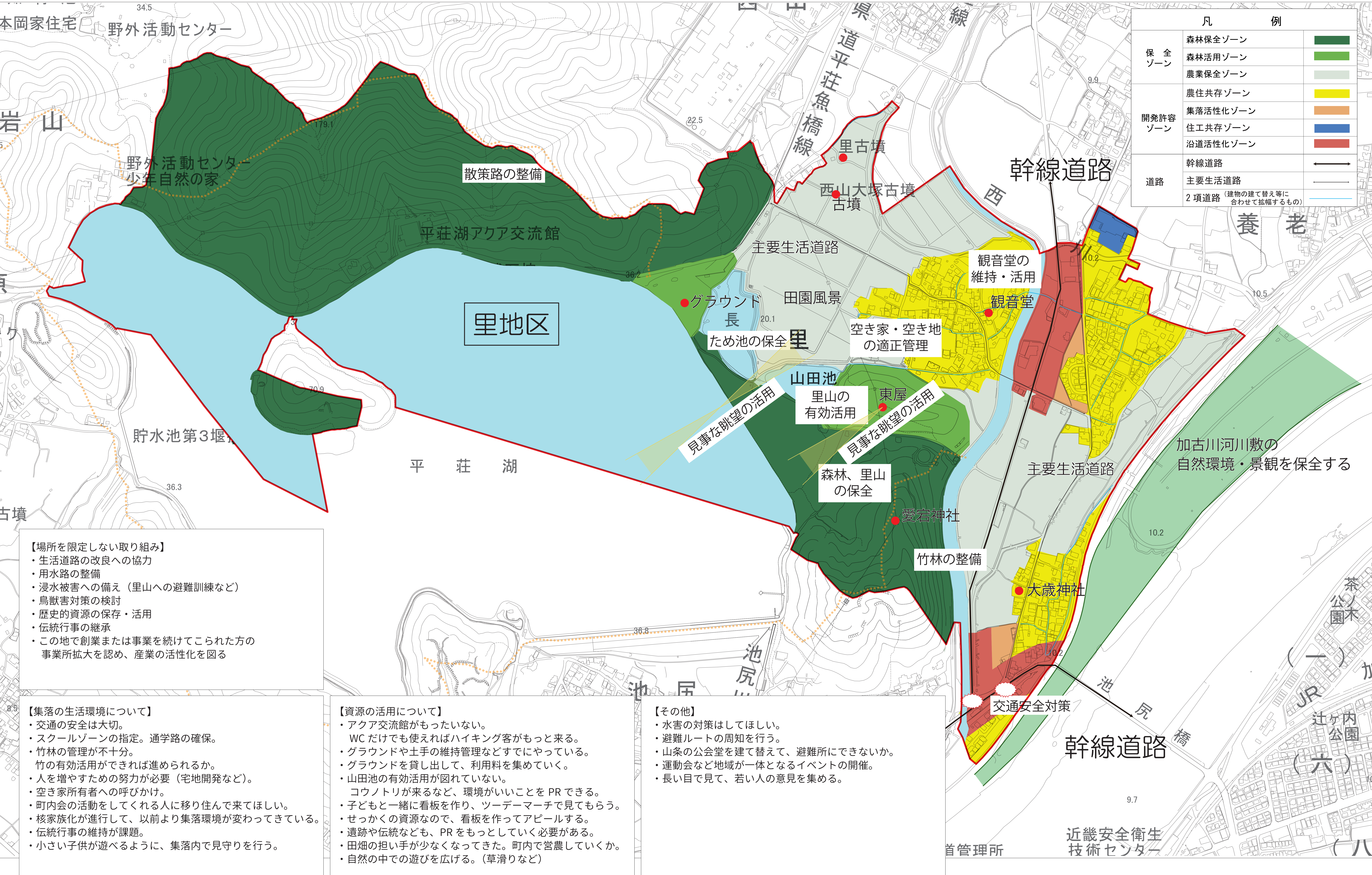


里地区 まちづくり構想図



凡例	
保全ゾーン	森林保全ゾーン
	森林活用ゾーン
	農業保全ゾーン
開発許容ゾーン	農住共存ゾーン
	集落活性化ゾーン
	住工共存ゾーン
	沿道活性化ゾーン
道路	幹線道路
	主要生活道路
	2項道路 (建物の建て替え等に 合わせて拡幅するもの)



【場所を限定しない取り組み】

- ・生活道路の改良への協力
- ・用水路の整備
- ・浸水被害への備え（里山への避難訓練など）
- ・鳥獣害対策の検討
- ・歴史的資源の保存・活用
- ・伝統行事の継承
- ・この地で創業または事業を続けてこられた方の事業所拡大を認め、産業の活性化を図る

【集落の生活環境について】

- ・交通の安全は大切。
- ・スクールゾーンの指定。通学路の確保。
- ・竹林の管理が不十分。
竹の有効活用ができれば進められるか。
- ・人を増やすための努力が必要（宅地開発など）。
- ・空き家所有者への呼びかけ。
- ・町内会の活動をしてくれる人に移り住んで来てほしい。
- ・核家族化が進行して、以前より集落環境が変わってきている。
- ・伝統行事の維持が課題。
- ・小さい子供が遊ぶように、集落内で見守りを行う。

【資源の活用について】

- ・アクア交流館がもっていない。
WCだけでも使えればハイキング客がもっと来る。
- ・グラウンドや土手の維持管理などすでにやっている。
- ・グラウンドを貸し出して、利用料を集めていく。
- ・山田池の有効活用が図れていない。
コウノトリが来るなど、環境がいいことをPRできる。
- ・子どもと一緒に看板を作り、ツーデーマーチで見ってもらう。
- ・せっかくの資源なので、看板を作ってアピールする。
- ・遺跡や伝統なども、PRをもっとしていく必要がある。
- ・田畑の担い手が少なくなってきた。町内で営農していくか。
- ・自然の中での遊びを広げる。（草滑りなど）

【その他】

- ・水害の対策はしてほしい。
- ・避難ルートの周知を行う。
- ・山桑の公会堂を建て替えて、避難所にできないか。
- ・運動会など地域が一体となるイベントの開催。
- ・長い目で見て、若い人の意見を集める。